

須留が峰



校訓 「自立 協同 創造」
校是 「生きるとは分かちあうこと」

養父市立養父中学校 学校だより
(令和8年3月10日) 第41号

学校教育目標「しなやかな強さをもち 協働的・創造的に活動できる生徒の育成」

令和7年度卒業証書授与式学校長式辞

57名の皆さん、卒業おめでとう。皆さんと私は、わずか1年間のおつきあいでしたので、もう少しいろいろな話をしたかったというのが正直な気持ちです。

そういうこともあって、皆さん一人一人を校長室へ招き、中学校生活について尋ねてみることにしました。すると、自らの3年間について明るく話ってくれ、とても有意義な時間を過ごすことができました。

まず1年生の頃。たいへん緊張した入学式、しかし、制服を着たことにより大人に近づいたような気分になった、新しい友達ができるか不安だったが、少しずつ仲良くなっていった、わくわくオーケストラが嬉しく、終わってしまうのが寂しかった、マラソン大会での先生からの応援の声を思い出すと今でも嬉しくなると、笑話で語る生徒たちが居ました。いっぽう、勉強が急に難しくなった、部活動での人づきあいに悩んだことがあったという話も聞き、環境の変化に懸命に順応しようとした様子が目に浮かんできました。

続いて2年生の頃。トライやる・ウィークでこども園に行き、幼児と触れ合うことにやりがいを感じた、ドラッグストアに行き、仕事の大切さを学ぶことができたという話を聞きました。また、北近畿の街を訪れ、その内容を発表しあったことが印象に残っているという話も出ました。さらには、生徒会役員になり、全校生の前に立つことに緊張したもの、「よし!やるぞ!」と決意を固めたと語る生徒も居ました。そんな中、あの頃が一番忙しくもあり、充実していたのかもしれないという言葉があり、うなずきながら話を聞きました。

そして、3年生の思い出。やはり、なんと言っても修学旅行。思う存分遊んだディズニーシー、みんなで協力しあった班別行動、中には目的地に着けなかった班もあったようですが、それも今となれば良き思い出のこと。さらには、新幹線やホテルでの会話が思い出として挙がってきて、非日常的な時間や空間が、皆さんの心に今も残り続けていることがよく伝わってきました。

また、部活動の引退。休日も自主練習をしてきたことを胸に最後の大会に臨んだという生徒、他校との合同チームだったが、自分たちの力を存分に発揮することができたという生徒がおり、さまざまなドラマのあった各部の様子が垣間見えました。

体育大会や文化祭に関する話もたくさん出てきました。体育大会では、リレーをはじめどの競技も全力を尽くしたという話に加えて、後輩を指導することの難しさを知ったという話がありました。いっぽう文化祭については3回経験したが、それぞれめざましいものが違う、最後の文化祭は単に賞を獲るというのではなく、「クラスの皆のために」という意識が強かったと話す生徒の表情が強く印象に残りました。

以上が、皆さんから聞いた主な思い出話ですが、普段の何気ない生活について話す生徒も多く、雨の日に傘を差し出してくれた先輩が居た、地域の方とあいさつを交わして心が温かくなったという話。さらには、グループ学習など対話的な授業が楽しかった、テストによって自分の努力が可視



化されて嬉しかった、3年間で勉強ができるようになり先生には感謝しているという話など、学習面に関する話も聞かせてもらいました。

卒業生の皆さん、この学校で得た思い出を胸に、次なる舞台でさらに飛躍してください。皆さんは、私たち養父中学校の教職員にとって、かけがえない、大切な教え子であったことをここに伝えます。

保護者の皆様、本日はまことにおめでとうございます。子供たちは、いよいよ3年後には成人。つまり、これからの3年間は、大人への準備をする時期となります。卒業生との面談では、将来の夢についても聞きましたが、多くの生徒から「人の役に立つ大人になりたい」「人を支えられる大人になりたい」などのたのもしい決意の声が上がりました。保護者の皆様におかれましては、これまでのご経験を踏まえた的確な助言を子供たちへ示すことにより、我が国の将来を担う使命感溢れる「大人」を、育ててくださいますようご期待申し上げます。

この卒業式には、養父市教育委員会より高橋大樹様にご臨席をいただきましたこと、心より感謝申し上げます。今後とも変わらぬご指導の程お願い申し上げます。

それでは、卒業生の未来が、明るく素晴らしいものになることを祈念し、式辞といたします。

令和8年3月10日

養父市立養父中学校長 岩浅克友希

3年間の中学校生活を表す漢字

卒業生との面談では、「自身の中学校生活を漢字で表したらどうなりますか?」という質問もしました。以下に卒業生から挙げた漢字を紹介します。

【卒業生から挙げた漢字】

「伸」「変」「山」「絆」「笑」「楽」
「戦」「成」「新」「縁」「幸」「努」
「彩」「繋」「志」「波」「友」「学」
「一」「音」「結」「超」「飛」「挑」
「苦」「勇」「仲」「協」「長」「飯」

それぞれの生徒が、自身の挙げた漢字について、その理由を教えてくださいました。「いろいろな意味で伸びた中学校生活であったから」「変化が激しかったから」「山あり谷ありだったから」「絆を深めることができたから」「笑顔で過ごすことができたから」「楽しく過ごせたから」「毎日が戦いであったから」「成長をしたことを感じるから」「新しい友達ができたから」「多くの縁があったから」「幸せを感じる事ができたから」「努力を続けることができたから」「彩りのある生活だったから」「多くの人との繋がりを感じたから」「志を持って過ごしたから」「良いことや悪いことのある波のある生活だったから」「友に恵まれたから」「学びの多い生活だったから」「協力することの大切さを知ったから」「毎日ご飯を食べることは大切なことだったから」・・・と話は多岐に及びましたが、それぞれの生徒の一文字に込めた熱い思いを聞くことができて楽しかったです。あらためて、卒業、おめでとうございます!どうかお元気で!



令和5年度入学式